

2022 年 3 月 15 日

セブン銀行「第2の成長戦略」加速へ IT 基盤刷新を完了

～新データセンターは再生可能エネルギーを活用し CO2 排出量ゼロへ～

株式会社セブン銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：舟竹 泰昭、以下 セブン銀行）は、システム基盤を刷新し、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：吉田 仁志）が提供するパブリッククラウドプラットフォーム「Microsoft Azure」と株式会社野村総合研究所（本社：東京都千代田区、代表取締役会長兼社長：此本 臣吾）が提供する国内データセンター2カ所への移行を2022年3月13日に完了しました。

セブン銀行はこれまで、全国26,000台以上のATMネットワークと独自の銀行サービスを提供するため、安心・安全なシステムインフラを運営してきました。

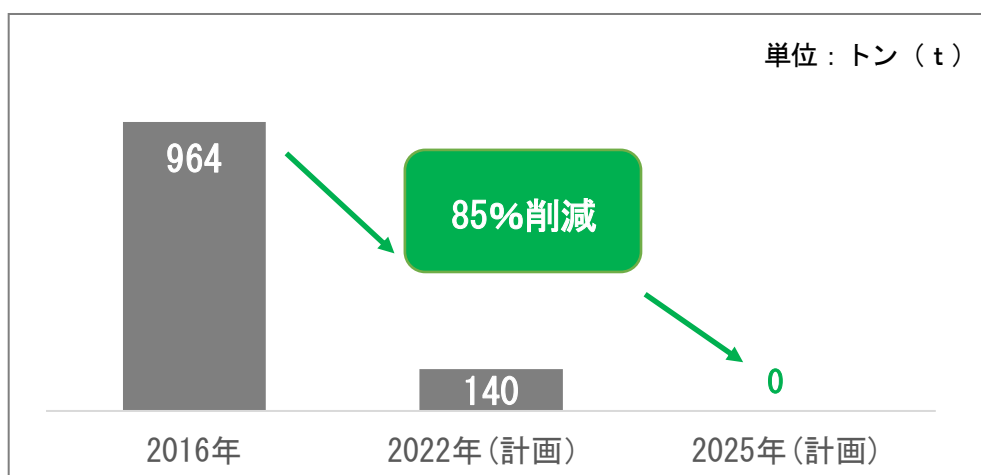
このたび、2021年5月に策定した中期経営計画の成長戦略として掲げる「事業領域の拡大」を実現するためシステム基盤の刷新を行ないました。新たなシステム基盤では、東西2カ所の最新データセンターとともにクラウドサービス（Microsoft Azure）を積極的に利用します。このような構成を築くことでサービス創出の俊敏性を格段に高めるとともに、さらに安全で障害に強いシステム基盤を実現することができました。

同時に、セブン銀行の重点課題である「環境負荷の低減」を実現するため、使用電力の全てを再生可能エネルギーで調達している野村総合研究所のデータセンターと、再生可能エネルギーの利用をはじめ、データセンターの設計、建設、運用におけるCO2排出量の削減、冷却用の水の使用量の大幅な削減など、持続可能性に配慮したMicrosoft Azureを併用し、CO2排出量の完全ゼロ化を目指します。また、Emissions Impact Dashboard for Azureを活用して、CO2排出量の可視化や分析をとおして、実効的な取り組みを進めます。

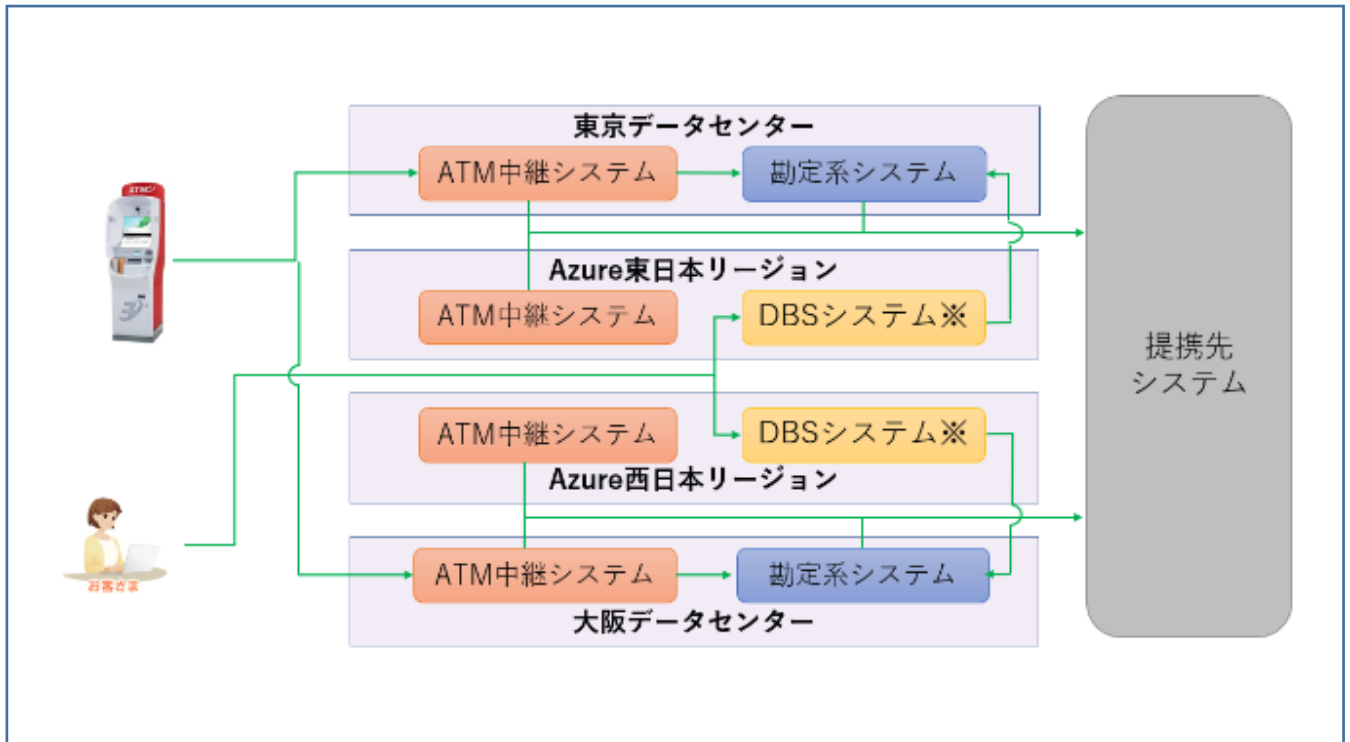
セブン銀行は、社会課題・環境問題の課題解決に積極的かつ持続的に取り組み、SDGsの達成に貢献するとともに、社会価値・企業価値の向上を目指します。



セブン銀行データセンターのCO2排出量削減予測



【ご参考】セブン銀行のシステム基盤全体像



※ DBSシステム：ダイレクトバンキングサービスに関するシステムのこと

【ご参考】野村総合研究所データセンター



以上